

事業分野
福祉分野

団体名

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 児童・母子福祉施設協議会

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

アイデアの種シート

関心のある 15のAction



これまでの取組活動

児童・母子福祉施設協議会では「次世代を担う子どもの育ち及び未来を守ることを第一の目的に、行政及び児童相談所等の関係機関と協力しながら様々な問題への取組みを進めています。そのような中で児童虐待相談件数は30年連続で最多を更新しており、更にコロナ禍により子育て家庭を孤立させない体制づくりが求められ、施設をはじめとして、民生委員・児童委員、関係機関等が連携及び協働し、地域が一丸となって子どもたちの支援を進めていく必要性が高まっています。



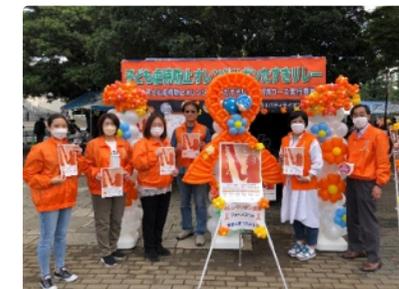
※写真は施設の子どもたちではありません。

このような状況から本協議会では、意見交換会や研究発表会、啓発事業等の各種事業を通じて、民生委員・児童委員をはじめとする地域住民への情報発信を行うことで、子どもたちの現状や抱える課題、施設が進める自立支援に向けた取組への理解を求め、一つひとつの課題の解決に向けた連携の強化を目指しています。



市制100周年に向けた取組アイデア

11月の児童虐待防止推進月間にあわせて、児童虐待防止の啓発活動を目的にオレンジリボン運動を行っております。その際に、記念事業としてより多くの市民に児童虐待の問題に関心を持っていただけるよう、これまで以上に様々な団体と共創し、誰もが（特に子どもや子育て世代が）暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていければと思います。参考：<https://www.youtube.com/watch?v=misoOUR4X9w>



【アイデア】

- ・実行委員会参画団体向けのロゴマークを活用した啓発グッズ等の作成
- ・実行委員会参画団体とコラボした啓発グッズ等の作成や配布、啓発活動
- ・オレンジ色の花の苗や種を配布する
- ・緑の木に子どもたちの手形や足形、オレンジリボン等を咲かせ、この木を実行委員会参画団体の方々や地域の方にもご協力いただき、市内の様々なところで増やしていく (写真参考)

実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアに参画し、実行委員参画団体の皆様とこれまで以上に「未来を担う子ども・若者がすこやかに育ち成長できるまち“かわさき”」を目指していきたいと考えていますので、ともに連携・協働しながら進めていきましょう！